

活用のポイント

このページは、中学年で環境教育を進めていくための導入となる。児童が生活を通して広く環境問題をとらえ、その改善に目を向けていくことができるように、環境破壊の事実やその原因に対して関心をもたせるようにしていきたい。

活動例

身のまわりの自然について話し合う。

- ・身のまわりにはどんな自然がみられるか？
- ・自然がなくなってしまうと感じることがあるか？



絵を見て気づいたことについて話し合う。

- ・花が泣いているのはなぜ？・・・等



酸性雨や地球温暖化の影響についておおよそのことを知る。



人為的な原因で、自然環境が破壊されている事実に気づかせ、このままではどうなってしまうか、そしてどうすればよいかについて自由に話し合う。



資料

< 酸性雨 >

原因：化石燃料（重油など）の燃焼により排出される硫黄酸化物、窒素酸化物などが空気中の水蒸気と反応して硝酸や硫酸に変化して雨に混ざり、降ってくる。車の排気ガスや工場の煤煙が大きな原因。

被害：川や湖に流れ込み、生息する魚類等が死滅する。森林の木々が一斉に枯れ始める。等銅像や建物なども溶けてしまうほど酸性が強い。

活用のポイント

このページでは、身のまわりの様々な環境問題に対し、自分たちが具体的にどのような取り組みを始めたらいいかということについて関心をもたせていく。この副読本を通しての案内役となるリサ、イク、ルーの3人の登場と、その3人のつづやきをキーワードにして環境問題に対する興味・関心や具体的な取り組みへの意欲を高めていくようにしたい。



3

活動例

環境を改善するために自分たちでできることを考える。

- ・リサ、イク、ルーは何をしているか？



自分たちで調べていききたいテーマについて調べていく方法やまとめ方について話し合う。

(調べ方)

- ・図書資料の活用。
- ・インターネットによる資料収集。
- ・実際に関係者の方を招いて話を聞く。

(まとめ方)

- ・新聞
- ・調べたことをファイルしていき、絵本などにしてまとめる。
- ・ポスターセッション等による発表。

資料

温暖化

原因：化石燃料等を消費することによって発生する二酸化炭素の影響（二酸化炭素は熱を蓄える性質がある）によって、地球が温室の中に入っているような状態になり、地球の平均気温が上がる。

被害：南極等の氷が溶け始めて海面が上昇し、砂浜が失われたり国土が水没したりしている。また、地表の温度が上昇して水分が失われ、砂漠化が進行している。等